



～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口
(平成5年9月末現在)

世帯数	8,427戸
人口	27,235人
男	13,930人
女	13,305人
9月の人口移動	
出生 40件	死亡 5件
転入 86件	転出 85件
婚姻 15件	離婚 5件

編集・発行/西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/(協)丸正印刷



とじて保存すると便利です

町内各学校で秋の運動会

一勝ちとれ! 最高の瞬間を! をテーマに、西原中学校(嘉納徳次校長)は、第25回体育祭を10月3日同校グラウンドで開きました。2年ごとの開催とあって、どの生徒も一所懸命に競技に取り組んでいました。

西原東小学校(井口善博校長)では、9月26日同校グラウンドで、“チバリョー東っ子”をテーマに運動会を開きました。こよみの上では秋でも、まだ残暑のつづくなか、子どもたちは精一杯がんばりました。また、10月2日には西原保育所(添盛初子)、10月16日には坂田保育所(寄川美智子所長)が運動会を開き、父母やおじいちゃん、おばあちゃんが応援するなか最後までがんばりました。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

八月
十五夜

村あしびでにぎわう

幸地・棚原で酉年豊年祭

独特の伝統芸能などを上演



道ジュネーで部落内を巡回する(棚原)

吹く風も心地よい中秋の夜、五穀豊饒と平安を願う伝統の豊年祭「村あしび」が、幸地・棚原、翁長で行われた。

棚原では、十二年に一度、「酉年豊年祭」(村あしび)として行われるが、これは平和で

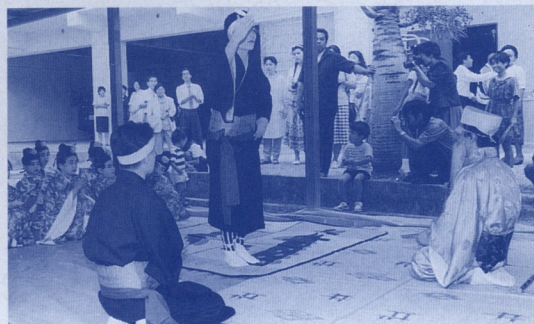
大正十一年(一九二〇年) プロケラム みらく舞い 百々蔵の大王 主権者代表あいさつ (幸地・棚原) 踊りこはでさ 祝いのめでたい節 演武 谷茶前 前の洪 かせかけ 洪千鳥 あいさつ (幸地・棚原) 祝宴太鼓 こてい節 世界報口説 手那覇頭親雲上 組踊り(国吉の比屋) 高千良万文 閑会あいさつ	大正十一年(一九二〇年) プロケラム みらく舞い 百々蔵の大王 主権者代表あいさつ (幸地・棚原) 踊りこはでさ 祝いのめでたい節 演武 谷茶前 前の洪 かせかけ 洪千鳥 あいさつ (幸地・棚原) 祝宴太鼓 こてい節 世界報口説 手那覇頭親雲上 組踊り(国吉の比屋) 高千良万文 閑会あいさつ
---	---

棚原・酉年豊年祭プログラム

豊かな世にするといわれる弥勒伽那志が酉年の生まれで今年が酉年であるためその誕生を祝って行われていると伝えられている。十月二日と三日の二日間行われた。

踊りの前に道ジュネーが行われ大殿内、棚原ノ口殿内で「百々蔵の大王」を奉納した後、アシビナーで午後五時から九時半頃まで行われた。

部落独特の吹奏楽器「楽(チヤルメラ)」の音色にのせて弥勒が福を招き踊る「弥勒舞」で幕開け、舞踊・狂言・演武など縁起ものの余興が次々と披露された。十月二日は棚原だけに伝わる義臣物語の組踊「国吉の比屋」、十月三日はこれも棚原だけに伝わる継



ノ口殿内で「百々蔵大王」を奉納(棚原)

子いじめ物語の組踊「雪払い」で、祭りは最高潮に達した。

祭り会場となったアシビナーは、客席が山の傾斜を上手に利用してつくられていて舞台を見下ろすような形になっている。区民はもちろん町内外からも多数の観客が見物に訪れ、二日間で二十四演目が披露され、約二千人の見物人を集め大盛況だった。

幸地では、「地域の伝統・シマの心を現代に」をテーマに幸地区自治会(外間栄徳会長)が主催して、十月二日の夜、幸地のアシビナーで行われた。「あしび」の演目編成は、獅子舞の七回の出番の合間を



ミルク ガナシ 弥勒伽那志がアシビナーに入場(棚原)

他の演目で埋めるような形になっており、獅子ガナシーが中心である。獅子舞は、脚割り・顎しりり・前叩ち・勢理客手・立ち返り・左右返り・鞠食いの七つの型(六つは那覇市首里汀志良次(汀良)と同じ型)を踊る。今の獅子は一九四八年に当時幸地にいた伊良皆盛保氏により製作されたもの。

この夜は、見物客約五百人を集めにぎわったが、強い雨のため予定演目の三分の二ほどしか上演できなかった。十月十日、公民館で、狂言「双子物語(ヌーチューチヨギン)」や幸地独特の踊り「柳天川」など、残りの演目を上演した。



地謡の方々も祭を盛りあげる(棚原)

棚原



山の傾斜をうまく利用した客席

写真コーナー でーびる



継子いじめをするのを知って継母乙樽を漸らうとする伊祖の子を止める思鶴

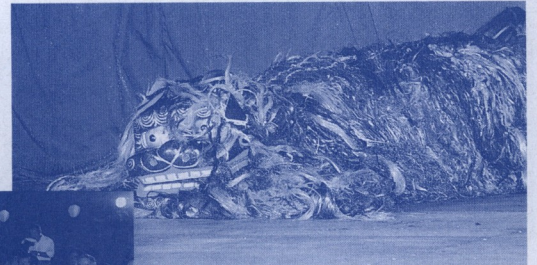


雪の降る中、継子いじめで掃除をさせられる姉・思鶴(雪払いからユチバレー)



演目のメインである獅子舞

幸 地



さまざまな型を踊る獅子舞

約500人の老若男女が集い、村アシビを楽しむ。

組踊「雪払い」

この組踊は一名「伊祖の子」ともいわれる。現存する「雪払い」の台本は石垣市立八重山博物館所蔵本の「伊祖の子組」が最古で、一八七五年の筆写本である。内容は「孝行物」で、あらすじは次のとおりである。

国王の命で北山へ民情視察に行くことになった伊祖の子は、子ども(姉・思鶴、弟・亀千代)に継母(乙樽)を助けて仲良く暮すように言いつけて出発する。しかし、継母は姉の思鶴につらくあたって、とうとう着物をはいで外へ追い出す。弟の亀千代は、姉の身を案じて着物を持って追いかける。下着のままで寒さに倒れている姉を亀千代が見つけ、着物を着せて継母の許しを乞うが聞き入れられず、継母は再び思鶴を雪の中に追いつ出す。北山の民情視察を終えて帰る途中の伊祖の子は、雪の中に倒れている思鶴を助ける。伊祖の子は、子どもからこれまでのいきさつを聞き、乙樽の弁解を聞かずに切り殺そうとするが、子どもの嘆願で思いとどまる。継母も改心し、親子仲睦まじく暮すことを誓う。

組踊「国吉の比屋」

一名「義臣物語」という。田里朝直(一七〇三〜一七七

棚原で行われた組踊り

(三) 作の組踊で「万歳敵討」「大城崩」「本部大主」とあわせて四番と称される。内容は「仇討物」で、あらすじは次のとおりである。

島尻の世の主である高嶺按司は色欲にふけり、遊興ざんまいの生活をしてた。臣下の国吉の比屋は高嶺按司に忠告をしたが、逆に位をはぎ取られる。民心は離反し、とうとう高嶺按司は首里の鯨川の按司に滅ぼされてしまう。落城の際に、若按司と思姉は逃げのび、しばらく高良の村頭崎本にかくまわれる。高嶺城の変を聞いた国吉の比屋は、人形売りに身をやつし、若按司と思姉の行方を尋ね歩く。村童たちから崎本の宿に若按司と思姉がかくまわれていることを聞き、二人に合う。高良の村は危険なので、国吉の比屋は二人を連れて識名村の花城の比屋にかくまう。鯨川の按司の威光を恐れて、だれも敵討の加勢をする者はいない。しびれをきらした国吉の比屋は単身で、強風の夜、鯨川の城に火攻めを仕掛けたが、捕らえられる。鯨川の按司は国吉の比屋の忠告をほめ、仇は子に及ばずといって若按司に父親の領地を継がすことを約束する。鯨川の按司の慈悲に感激した国吉の比屋と若按司は踊って帰る。

(「酉年に年まゐるあしび」から)

主催 棚原自治会
酉年豊年祭実行委員会)

平成5年度

町畜産共進会を開催

西原町農業協同組合(宮平定昌組合長)主催の平成5年度西原町畜産共進会が、十月一日、町農協集荷場で行われた。

これは、畜産を広く町民にアピール、畜産業者の畜産技術の向上を図り、



「ウー、上等だね～」

経営安定に寄与するのが目的。
なお、優等賞受賞者や入賞者は次の通り(敬称略)。

〔西原町長賞〕牛の部・経産2類―与那嶺安正、豚の部・壮令雄2類―呉屋秀信(島尻・中頭郡農業共済組合長賞)牛の部・未経産2類―宮城正雄〔西原町議会議長賞〕牛の部・経産1類―宮城正雄〔西原町農業委員会会長賞〕牛の部・経産1類―宮城正雄〔優等賞〕肉用牛の部・未経産1類―宮城正雄、未経産2類―宮城正雄、経産1類―宮城正雄、経産2類―与那嶺安正、種豚の部・未経産2類―許田清喜、若令雄1類―山川三郎、若令雄2類―新里朝男、壮令雄2類―呉屋秀信、肥育豚―山川三郎

町きび対策協を設立

さとうきびの生産を振興しよう―と、九月十七日午後、町中央公民館で西原町さとうきび生産振興対策協議会設立総会が開催された。

これは、さとうきびの生産振興を円滑・効果的に推進し、さとうきび生産農家経済の安定向上に資することを目的とするもの。

町農業協同組合、町役場、町議会、町農業委員会、中部農業改良普及所、町農協原料委員会、翔南製糖株式会

社(旧中部製糖株式会社)、町区長会など八つの団体及び生産農家代表で組織する。
協議会では、生産者大会、競作会、来年三月設置予定の品質取引に対応するための品種別試験圃などの事業に取り組んでいく。
会長に選任された宮平定昌町農業組合長は「生産者の高齢化、労働力不足、後継者不足、価格低下などさとうきび作を取り巻く状況は厳しいが、



(敬称略)

みんなて力をあわせて機械化の推進や生産組織の育成、農作業委託組織の強化などで、さとうきび作を活性化させよう」と述べた。平安町長はあいさつの中で「きびの品質を高め、遊休地の解消などみんなてさとうきび生産の振興に向けて力をあわせていこう」と述べた。

なお、役員は次のとおり。

▽会長―宮平定昌(西原町農業協同組合長)

▽副会長―長嶺由光(西原町農業委員会会長)

▽監事―翁長正貞(西原町収入役)、崎原裕右(西原町農業協同組合理事)

新農業委員

二十二名決まる

町選挙管理委員会(糸数雄介委員長)では、任期満了に伴う町農業委員会委員選挙の告示を九月七日に行い、選挙

による定数十六名を立候補者数十六名により無投票で選出、九月十七日に町中央公民館で当選証書の附与式を行った。

また、十月一日午後、平安恒政町長は、農業委員会等に関する法律に基づき、町農業協同組合推薦の理事一名及び町議会推薦の学識経験者五名

を選任し、町役場二階議会委員会室で、辞令を公布した。任期は三年。

なお、会長に長嶺由光氏、会長代行に新垣盛男氏がそれぞれ選任された。

委員の方々は次の通り(敬称略)。



無投票で選出された新農業委員
(9月17日、町中央公民館の当選証書附与式)

第8期西原町農業委員名簿

(第8期就任 H5. 10. 1)

	氏名	住所	行政区	電話	区分
会長	長嶺 由光	津花波 19	津花波区	5-4653	選挙
1	比嘉 貞祐	上原 290-1	上原区	5-7513	選挙
2	佐久田朝祐	徳佐田 165	徳佐田区	5-5103	学識
3	新垣 盛男	我謝 687	我謝区	5-9641	選挙
4	新垣 實	我謝 100	我謝区	5-9027	学識
5	新川 常順	小那覇 29	小那覇区	5-0744	選挙
6	城間 清男	与那城 242-1	与那城区	5-7071	学識
7	喜屋武正雄	我謝 176	我謝区	5-6097	選挙
8	小橋川賢一	与那城 78-5	与那城区	5-7054	選挙
9	與那嶺盛吉	幸地 23	幸地区	5-7560	選挙
10	與那嶺輝政	幸地 215	幸地区	5-8314	選挙
11	比屋根和憲	池田 8	池田区	5-9351	選挙
12	呉屋 定三	呉屋 109	呉屋区	5-5230	選挙
13	喜納 昌吉	上原 91	上原区	5-8265	選挙
14	仲宗根正光	翁長 479	翁長区	5-6946	選挙
15	稲福 恭信	上原 245-2	上原区	5-4861	学識
16	小波津政文	小波津 212	小波津区	5-0473	選挙
17	喜屋武正広	我謝 241-52	美咲区	5-3539	選挙
18	泉川 寛一	翁長 702	翁長区	6-3551	選挙
19	花城 清雄	与那城 302-17	平園区	5-1365	選挙
20	翁長 正吉	幸地 209-2	幸地区	5-4210	農協
21	城間 武光	安室 25	安室区	5-8398	学識

町陸上で我謝チームが総合優勝

第十四回 町陸上競技大会

「より速く、より高く、より遠くへ」をスローガンに、第十四回町陸上競技大会が、九月十九日、町民陸上競技場で、町体育協会(野島英秀会長)主催により開催された。

メインスタンドができて初めての競技大会で、青空の下、二十一団体、千人余が参加して、各種目に熱戦が展開された。

小学生リレーや中学生男女混合リレーなどが大会に花を添え、小学生から六十代までの町民が参加しての文字通り「町民のスポーツの祭典」となった。

この大会は、第二十一回中頭郡陸上競技大会への町代表選手の選考も兼ねており、トラックの部、フィールドの部の各種目に、選手たちは力と技を競いあった。

また、朝早くから駆けつけた区民らが、各チームの代表選手に盛んに応援を送っていた。

今大会は三つの新記録を、一般男子四百メートルリレー、三十代千五百メートル、三十代走高跳の三種目で記録した。団体成績及び新記録は次の通り(敬称略)。

▽男子の部 一位・県営内間団地区、二位・我謝区、三位・小那覇区▽女子の部 一位・我謝区、二位・翁長区、三位・小那覇区▽総合の部 一位・我謝区、二位・小那覇区、三位・県営内間団地区▽夏季大会の部 一位・翁長区、二位・県営内間団地区、三位・我謝区▽新記録 一般男子四百メートルリレー・幸地区・記録四十八秒六三、三十代男子千五百メートル・普天間邦光・内間団地区・記録四分四十六秒五五、三十代男子走高跳・安里勝正・兼久区・記録一米ートル七十五

なお、第二十一回中頭郡陸上競技大会では男子三位、女子五位、総合三位、夏季総合で三位の成績を記録した。十一月二十七日・二十八日に行われる沖縄県民体育大会陸上の部には、次の選手が中頭郡代表として出場する(敬称略)。

▽一般男子 砲丸投・新垣寛、やり投・比嘉靖、円盤投・比嘉靖、八百メートル・稲福寛、四百メートルハードル・宜保栄、千六百メートルリレー・宜保栄▽女子 走幅跳・宮平真由美、四百メートルリレー・宮平真由美▽三十代 年齢別四百メートルリレー・城間正和

生き生きとスポーツ大会



体育の日にみんなで楽しく汗を流そうと、十月十日、町教育委員会(稲福恭助教育長)主催で、生き生きスポーツ大会が開催され五〇〇人が参加、秋晴れの空の下、心地よい汗を流した。

これは、日頃スポーツをする機会の少ない町民を対象に、健康の大切さを考える機会とスポーツを通しての健康づくり、町民相互の親睦を図ることが目的。グラウンドゴルフ、ゲートボール・少年野球の三競技がそれぞれ町民陸上競技場・兼久ゲートボール場・西原南小学校グラウンドで行われた。

グラウンドゴルフの部には、二百人、ゲートボールの部には十六チーム百二十人、少年野球の部には八チーム百十人がそれぞれ参加、好天にも恵まれて、和気あいあいと楽しくプレーした。



なお、各競技の優勝(一位)は次の通り(敬称略)。
▽グラウンドゴルフ競技―団体優勝・小波津老人クラブ、個人高齢者の部・一位・呉屋ヨシ・小波津、一般の部・一位・宮里一男・棚原、小学生の部・一位・城間信太(ホーリンワン賞)与那嶺誠二、与儀浩之、与那城哲也、与那城邦太、翁長次郎、小波津スミ、宮平一、翁長慶次▽ゲートボール競技―一位・平園B▽少年野球競技―優勝・西原東ブレイブスB



西原小学校で安全祈願祭

10月7日午後、西原小学校(宮里政和校長)で、危険建物改築工事安全祈願祭が、関係者約40人が参加して行われた。

これは、老朽化した普通教室や図書室、視聴覚教室の建物を取り壊し、教室や図書室、コンピュータ教室に改築するため行ったもの。建築は(有)東洋建設・前田建設(株)建設工事共同企業体、電気は沖電水工事(株)、(有)日向工業、設計は匠建築設計事務所。総工費2億4,500万円をかけて、平成6年3月下旬に竣工予定。



町老連が社会奉仕活動

町老人クラブ連合会(呉屋安信会長)では、9月20日を「社会奉仕の日」として位置づけ、同日午前、国道329号線・県道38号線・町道などのチリ・空ビン・空缶の回収作業を行いました。

各单位老人クラブが、各々の地区を担当、手袋とチリ袋を持って朝早くから取り組みました。あつという間にゴミ袋がいっぱいになっていく様子をみて、「空缶のポイ捨てなどマナーが悪い。もっと自分たちのまちを大事にしてほしい。また、自動販売機の側には空缶入れを必ず設置するなどしてほしい」と、呉屋会長は話してくれました。町老連のみなさん、大変お疲れさまでした。



平和祈願碑建立安全祈願祭

9月24日午後、西原の塔地内で、町遺族会(翁長正昌会長)主催で関係者約40人が出席し、町戦没者刻名平和祈願碑建立の安全祈願祭が行われた。

48年前の大戦で犠牲となった西原村(当時)出身の全戦没者を、当時の部落ごとに調査し、戦没者を刻名記念碑として建立することで悲惨で無益な戦争を後世の人々に語り継ぎ、反戦平和・恒久平和を訴え、激戦地であった西原がその発信地となることを願うもの。碑への刻名は、1,100余柱にのぼる。

また、今後は全戦没者名簿の作成や平和祈願碑建立記念式典なども予定している。



西原東中が第1回学習発表会

日ごろの学習の成果を発表することにより、生徒の自主性や創造性を培おうと、10月3日、西原東中学校(瑞慶覧進校長)の第1回学習発表会が催された。

発表会は「今こそ輝け、われらの努力の結晶よ」をテーマに展示の部と舞台の部に分かれ、教科を中心にクラブ活動や部活動を加味したものとなった。

発表会は、教科会や実行委員会、PTA部などの運営組織が協力し、3ヵ月前から取り組んだ。

展示の部では、西原に関する新聞記事のスクラップ帳や「エイズ」などを扱った掲示物、舞台の部では、英語ストーリーの読誦や琉球舞踊など、生徒たちが創意工夫を凝らして発表した。

11月3日(文化の日)は、町中央公民館で午後2時から文化講演会。



盛り上がったバレーボール祭り

第3回町バレーボール祭りが、町バレーボール協会(平安恒政協会長)主催により、10月3日と9日、町民体育館で行われた。

バレーボールの盛んな土地柄を反映して、6人制バレーボールに27チーム、9人制バレーボールに16チームが参加、300人以上が参加して大いに盛り上がった。

小学校の部一男女と中学校の部一男女が6人制、家庭婦人の部とOBの部が9人制、高校・大学・一般の部一男女が9人制と6人制というように、各世代別・男女別にバラエティーに富んだ競技種目となった。なお、種目別優勝チームは次の通り。▷6人制—小学校男子・西原小A、小学校女子・坂田小、中学校男子・西原中、中学校女子・西原中A、一般男子・西原高校A、一般女子・西原クラブ▷9人制—OB・西原クラブ、家庭婦人・西原クラブA、一般男子・西原クラブ、一般女子・新栄設備



がんばった県身障者スポーツ大会

第29回沖縄県身体障害者スポーツ大会(沖縄県、石垣市、県身障者福祉協議会主催)が9月26日・27日の2日間、八重山運動公園(主会場)で開催された。

本大会に町代表として出場した7人の選手たちは、県内各地から参加した肢体不自由や視覚障害などを持った500人の参加者たちと、陸上競技や卓球など各種目に力や技を競い、見事な成績を収めた。

なお、大会参加競技種目と選手名、順位は次の通り(敬称略)。

▷100メートル走・玉那覇俊雄・1位、▷砲丸投・玉那覇俊雄・2位 ▷ソフトボール投げ・糸数ノリ子・1位、崎原盛男・3位、喜屋武良春・4位 ▷走幅跳・奥原陽子・4位 ▷卓球・宮平助徳・2位、玉城康雄・3位。



児童館でおだんごづくり

9月28日午後、西原児童館(平安恒政館長)では、暦で秋に入ったことから、秋のお月見に欠かせないおだんごを小学3・4年生を中心として作りました。

4人一組で5組が参加。順番を待ちきれずに台所に顔をのぞかせ、せかすチビっ子も。

小豆やヨモギで色つけて、白・赤・緑の鮮やかな三色の串だんごをつくりました。参加した子どもたちは、2人の児童厚生員のお姉さんたちの指示にも、「大丈夫、家でもお手伝いしているもん」、「油を使って作る料理だって平気だよ」と答えながら見事な手つきでだんごを作っていました。



町美術工芸・写真展を開催

芸術の秋にふさわしく、これまでの活動の積み重ねの上に更なる飛躍を期そうと、町文化協会美術工芸部会(宮城信八会長)・写真部会(屋良勝彦会長)主催の第2回町美術工芸・写真展が、10月8日から10日までの3日間、町中央公民館ホールで行われた。

美術工芸部会からは12名の24点、写真部会からは16名の55点が出品され、見学に訪れた約200人の入々が「芸術の秋」を楽しんだ。



わたしたちは、勤労感謝の心を養い、物を大切にしましょう。(町民憲章)

県内町村初の 育児相談室を設置

-10月から-

悩むよりまずひと言の相談を——と、町(平安恒政町長)では、九月二十四日午前、乳幼児育児相談室を設置し、相談員六人に対し、委嘱状を交付した。

これは、核家族化の進展などに伴い、身近に育児についての相談に応じる場が求められており、保育所のもつ育児機能の専門性を活用し、適切な指導・助言を行うことにより、乳幼児の健全な育成に資することを目的とするもの。相談員は町内六カ所の保育所所長(園長)で、保育所でのこれまでの豊富な経験、母親の立場などを生かして相談に応じていく。

相談日は毎週木曜日で、午後二時から四時までの二時間、二人一組で輪番制。相談対象年齢はゼロ歳児までの乳幼児。夜尿、夜泣きなど基本的な生活習慣や歩行、言葉の発達など発育・発達に関することを相談内容とする。相談内容によ

り必要に応じて、南風原町在精神保健センター、南部保健所、那覇市在の県中央児童相談所、家庭児童相談室(南部福祉事務所)、町役場保健衛生課と連絡を取り紹介する。

委嘱状を交付した平安町長は、「乳幼児時期は、人格形成において大変重要であるが、核家族化の進展などに伴い、離乳食の時期や作り方など基本的な子育ての知識を持たない若い母親が増えている。みなさんの豊富な知識や経験を生かし、このような人たちの力になってほしい」と相談員を激励した。

なお、相談員は次の通り(敬称略)。

- ▽久手堅愛子(愛和保育園長)
- ▽大城 常子(西原白百合保育園長)
- ▽宮城 邦子(さざなみ保育園長)
- ▽田仲美智子(小川保育園)
- ▽寄川美智子(坂田保育所長)
- ▽添盛 初子(西原保育所長)



育児相談員のみなさん

乳幼児育児相談事業体系図

- ①相談受付曜日・時間
- ②内容
- ③住所・電話番号

地域保護者

指導
相談

紹介

紹介

沖縄県中央 児童相談所

- ①月～金 9:00～16:00
- ②言葉の遅れや他の子と遊べないなど発達に不安があるとき
- ③那覇市首里石嶺町 4-394番地
電話：866-2900

精神保健 センター

- ①月～金 9:00～16:00
- ②精神障害 適応障害
- ③南風原町字宮平212番地
電話：888-1450

西原町育児相談室

- ①毎週木曜日 14:00～16:00
- ②基本的生活習慣・発育・発達に関すること
- ③町役場水道庁舎2階(字嘉手苧112番地)
電話：945-3656

南部保健所

- ①月～金 8:30～17:00
- ②保健に関する相談
- ③南風原町字宮平212番地
電話：889-6351

紹介

紹介

家庭児童 相談室 (南部福祉事務所)

- ①月～金 8:30～17:00
- ②家庭や児童の福祉に関する相談
- ③那覇市与儀1丁目3番1号
電話：855-7104

保健衛生課

- ①月～金 8:30～17:00
- ②保健婦
- ③町役場(字嘉手苧112番地)
電話：945-5013(内161)



平安町長から助成金が交付された。

7つの自治会に助成金交付

町地域自治活動推進地区指定事業

町(平安恒政町長)では、十一月一日午後、平成五年度町地域自治活動推進地区を指定し、町役場二階会議室で助成金を交付した。

これは、地域の特徴を活かした個性豊かな地域づくりを推進し、明るく住みよい地域社会の創造と活性化を図ることが目的。平成三年度から始まり、今回が二回目。指定期間は平成五・六年の二年間で年間十万円、二年間で計二十万円を助成。

私が子どもの頃、坂田小学校区域全体を「上地区」、西原小学校区域全体を「下地区」と呼んでいました。また、名字だけでこの地域出身者がわかったものです。

しかし現在では、団地や住宅の建設に伴い、人口が急増し、子どものクラス名簿に見慣れない名字が多くなっています。

さらに、町内には小学校が四校、中学校が二校、高校、短期大学、国立大学というように教育施設に恵まれるようになりました。

また、子どもたちが考える

あいさつの中で平安町長は、

「地域のみなさんが喜べる快適な地域づくりをして下さい」と

各指定地区の代表者を激励した。

なお、今回指定を受けた地区

と主な事業名は次の通り。

▽幸地―区民広場の公園化事業、津花波―綱引きの復活、内岡団地―団地文庫設置(自治会創立十周年記念事業)、我謝―区民運動会、西原ハイツ―ハイツ十周年記念事業、桃原―獅子祭り、小波津―区民運動会

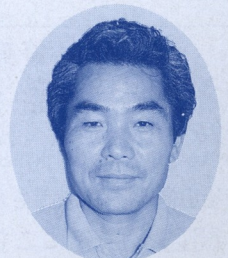
兼久区の新事務担任者決まる

このほど、兼久区の事務担任者が決まりました。これから任期までの二カ年間、町民と行政のパイプ役として活躍いただく、玉井正幸さんです。町民のみなさん、どうぞよろしく。

なお、左は先月号でお伝えした翁長区の新事務担任者城間敏明さんです。



翁長区
城間 敏明
字翁長644
☎945-1752



兼久区
玉井 正幸
字兼久181-2 205号
☎944-0034

坂田に児童館の設置を

エプロン通信員 山城美恵子

まちづくり・男女共同参加型社会を目指して・高齢化社会への対応について、それぞれ「ジュニアサミット」(平成三年)、「女性サミット」(平成四年)、「シルバーサミット」(平成五年)が開かれました。

各サミットとも県内各地より多くの参加者が集い、二十一世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」を県下に広

くアピールできたと思います。しかし、二十一世紀を担う子どもたちを取り巻く環境や子どもたち自身の知・徳・体のバランスについてはどうでし

ようか。体格は向上したが体力は低下しているといわれる現代っ子たち。遊び場は少なく、道路は車に占領され、子どもたちはテレビゲーム漬けにならざるを得ない環境にお

かれています。子どもたちに強い期待をかけながら、知らず知らず悪い環境づくりに加担してしまっている大人たち。非行の芽は、幼少期より始まるといわれています。この大事な時期こそよい環境の中で育てたい。

しかし、現在の坂田小学校区は、町内の商業地域であり子どもたちの金銭感覚をマヒさせる条件が備わっているように思います。それゆえ下校後の自主的活動の場―児童館が坂田小学校地域に必要であると思います。

需要者の皆様へ

—水道料金改定について—

新料金は11月調定分から

需要者の皆様には、日頃から本町水道事業に深いご理解とご協力をいただき感謝を申し上げます。

さて本町の水道事業は、昭和56年10月以降は料金の抜本的改定を実施せず、12年間も現行料金のまま据置をしておりました。

しかしながら、今年の6月1日に、県企業局が卸料金を29.56%もの大巾値上げを実施した事により、現行の水道料金のままでいくと今年度の会計以降大巾な財源不足が見込まれ、赤字経営におちいることになります。

水道事業の場合、水道施設の新設、改良工事、修繕、水の購入その他の維持管理などすべての経費を皆様方がお支払いになる水道料金でまかなう独立採算制による別途会計であります。

以上のことから事業拡張、給水条件の改善等水道事業の健全な運営を図るため、このたびやむを得ず必要最小限度に料金の改定(平均改定率 22.12%)を実施することになりました(9月の西原町議会定例会において「西原町給水条例の一部を改正する条例」が可決成立、平成5年10月1日施行)。新料金については別表のとおりで11月調定分から適用したいと思いますので、さきに述べた事情をご理解いただきご協力下さいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

西原町水道課

電話 945-4934

料 金 表

(別表)

種別	用途別	基本料金 (1ヶ月につき)		超過料金
		水量	料金	
専用給水装置	家庭用	8㎡まで	1,150円	9㎡～25㎡ 1㎡につき185円 26㎡～50㎡ 1㎡につき200円 51㎡～100㎡ 1㎡につき215円 101㎡以上 1㎡につき230円
	団体用	10㎡まで	1,650円	11㎡～100㎡ 1㎡につき210円 101㎡～200㎡ 1㎡につき230円 201㎡～500㎡ 1㎡につき250円 501㎡以上 1㎡につき270円
	営業用	10㎡まで	2,000円	11㎡～100㎡ 1㎡につき230円 101㎡～200㎡ 1㎡につき250円 201㎡～500㎡ 1㎡につき270円 501㎡以上 1㎡につき290円
	臨時用			1㎡につき 550円
共同給水装置	共同用	料金算定の基礎となる使用水量は、親メーターの指示数に基づき、各世帯均等に使用したものとみなし、家庭用なみの料金とする。		

〔註〕 1. 水道施設の新設、改良、名義変更、用途変更、料金支払方法の変更、水道の使用停止、水もれなどは町水道課に連絡して下さい。

お知らせ
でーびる

募集・案内

～浦添警察署からのお知らせ～

犯罪捜査に御協力を

警察では、11月中を「捜査活動等に対する、市民協力確保及び指名手配被疑者捜査強化月間」として市民のご協力を呼びかけております。

- 街の掲示板等に掲示された指名手配被疑者(写真)の検挙にご協力を！
- 聞込み捜査にご協力を！
- 不審者(車)を見かけたら 110番を！
- 事件相談、暴力団相談はどうぞ浦添警察署へ！

浦添警察署
電話875-0110(代)

健康のみなもとは歯から

歯の健康コンクールを開催します。

日時：平成5年11月13日(土) 午後2時～午後3時

場所：西原東中学校(西原まつり・健康まつり会場)体育館

対象：①コンクール表彰対象

ア. 町内在住の幼児(5才児<昭和62年4月2日生～昭和63年4月1日生>)

イ. 町内在住の中高齢者(60才以上)

②歯科検診および相談

全町民(多人数のときは制限)

老後を大切にしたいから国民年金(平成5年度国民年金標語入選作品)

第9回 西原まつりプログラム "ふれあい・語らい・わったーまち西原、"

11月	行 事 名	場 所	AM 10:00	11:00	12:00	1:00	PM 2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00
13 日 (土)	商工バレー	町内一円					(町内商工会員)								
	開 祭 宣 言	ステージ						(西原東中学校吹奏楽部)							
	展 示 会	体育館													
	運 玉 太 鼓	ステージ前広場													
	空 手 演 武	ステージ													
	マ ー チ ン グ	まつり広場													
	職場対抗カラオケ大会	やぐら													
	ミス西原選出大会	ステージ													
(日)	民謡ショー	やぐら													
	カチャーシー大会	ステージ													

11月	行 事 名	場 所	AM 9:00	10:00	11:00	PM 12:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00
14 日 (日)	表 彰 式	ステージ													
	展 示 会	体育館													
	ドッチボール大会	まつり広場													
	チビッコ天国	やぐら													
	子供フェスティバル	ステージ・広場													
	集 団 演 技	まつり広場													
	ヤングフェスティバル	ステージ													
	チャリティー抽選会	やぐら													
	お 笑 い 劇 場	ステージ													
	伝 統 芸 能	広場・ステージ													
	内 間 エ イ サ ー	まつり広場													
	踊 り の タ べ	やぐら													
(日)	花 火 シ ョ ー	まつり広場													
	閉 祭 宣 言	やぐら													

※問い合わせ先 西原まつり実行委員会(町役場 総務課 電話 945-5011)

※都合により変更することもあります。

第9次漁業センサス実施のお知らせ

本年11月1日、
漁業センサスが実施されます。

この調査は、海面や内水面の漁業の実態を明らかにするため、全国の漁業者と漁業関連の仕事に従事している皆様に、調査員が直接お会いして聞き取る(一部自計申告を含む)もので、いわば“漁業に関する国勢調査”に当たります。

漁業センサスは、水産行政施策を全国、各地域の実情に応じて、きめ細かく、的確に進めるために必要な基礎資料を整備する極めて重要な調査です。

関係者皆様方の深い御理解と格別の御協力をお願いします。

平成5年度(第2回)海上保安庁船艇職員・無線従事者募集案内

海上保安庁では、下記要領により海上保安庁船艇職員・無線従事者募集を行います。

1. 受 付 期 間：平成5年11月1日(月)～同年11月19日(金)
2. 試 験 日：第一次試験 平成5年11月28日(日)
第二次試験 平成5年11月29日(月)
3. 試 験 場：第十一管区海上保安本部
那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎
4. 問い合わせ先：第十一管区海上保安本部人事課第一人事係 ☎098-866-0083 内線(213)

「防犯デー」について

実施日時：毎月15日(15日が休日、閉庁日の時は変更します)

防犯デーの趣旨：地域社会の自主的な防犯活動の活性化を図り、地域の安全を確保するため、警察、民間防犯団体、地域住民が協力して地域ぐるみの防犯活動を展開する。

実施方法：関係機関・団体・地域住民が協力して実施する。

連絡先：浦添警察署防犯少年課

電話 875-0110(内線) 251、253

11月(Nov.) 行事・祭事予定表

- 1日(月)○パソコン講座 (昼-14:00~16:00、夜-20:00~22:00、月~金・全20回、町中央公民館)
 ○県公園緑化祭功労賞表彰式-津花波区、建設省-桃園区 14:00 町役場2階会議室(事務担当者会で)
- 2日(火)○社協大会(3日 社会福祉センター)
- 3日(水)○文化の日、役場閉庁
 ○文化講演会 14:00~ 町中央公民館
- 4日(木)○心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター(10日、17日、24日)
- 5日(金)○母親学級 13:30 町社会福祉センター(12日、19日、26日)
 ○食事サービス 10:00 町社会福祉センター(12日、19日、26日)
- 6日(土)○役場閉庁
 ○ビデオ会 14:00 西原児童館
 ○SLカーキャラバン 14:00 坂田プリマート
- 7日(日)○西原南小学校学芸会
- 8日(月)○三歳児健診 13:30~14:15 町社会福祉センター
- 9日(火)○挑戦大会 15:00 西原児童館
- 10日(水)○墨絵講座 20:00~22:00(水・金-全10回、町中央公民館)
- 11日(木)○1歳半健診 13:30~14:15 町中央公民館
- 13日(土)○土曜閉庁
 ○西原まつり・健康まつり(14日、西原東中学校グラウンド)
- 14日(日)○インフルエンザ 9:00~10:30 町中央公民館
 ○映画上映会 町中央公民館
- 16日(火)○トランポリン 16:00 西原児童館
- 17日(水)○離乳食実習 13:30 町中央公民館
- 20日(土)○土曜閉庁
 ○映写会 14:00 西原児童館
- 23日(火)○勤労感謝の日、役場閉庁
 ○町戦没者功名平和祈念碑除幕式 14:00 西原の塔
- 26日(木)○ふれあい国際交流講習会 17:00 町中央公民館
- 27日(土)○土曜閉庁
 ○年賀状づくり 15:00 西原児童館

12月(Dec.) 行事・祭事予定表

- 1日(火)○心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター(8日、15日、22日、28日)
- 3日(金)○食事サービス 10:00 町社会福祉センター(10日、17日、24日)
- 4日(土)○役場閉庁
- 5日(日)○西原町ウォークラリー大会
- 7日(火)○トランポリン 16:00 西原児童館
- 11日(土)○役場閉庁
 ○読み聞かせの会 10:00~12:00 町中央公民館
- 18日(土)○役場閉庁
 ○クリスマス会 14:00 西原児童館
- 23日(木)○天誕生日、役場閉庁
 ○町文化協会クリスマスコンサート
- 25日(土)○役場閉庁
- 27日(月)○ピカピカ大作戦 西原児童館(28日)
- 28日(火)○御用納め
- 31日(金)○24時間ソフトボール大会(~平成6年1月1日)

※都合により日程変更することもあります。

快く納めて安心 豊かな暮らし

「税を知る週間」が始まります/(11/11~11/17)

国や県、市町村は、私達が豊かで安定した暮らしができるように、いろいろな活動を行っています。

税金は、その活動をするための大切な財源であり、私達が共同生活を維持するための会費であるといえましょう。

そこで、広く皆さんに税の意義や役割を正しく理解し考えていただくため、今年も「この社会あなたの税がいきている」をスローガンに11月11日から17日までを「税を知る週間」とし、各種の行事が行われます。

西原町においても北那覇税務署や那覇県税事務所、町税務課の三税共同による「税金相談コーナー」が開設されます。

税の仕組みや課税、納税等、税に関することでしたら何でも御相談に応じます。

お気軽に御利用下さい。

1. 税金相談コーナー

日時：平成4年11月11日(木) 午前10時30分~午後4時
 場所：西原町役場2階会議室

2. 税金展等

○税金展(11日、12日 マチナトショッピングセンター)
 ○税理士の無料税金相談(11日、12日 マチナトショッピングセンター)

年末調整説明会のお知らせ

日時：11月9日(火) 午後1時30分~4時

場所：西原町中央公民館

内容：年末調整の仕方、地方税、法定調書の作成等



※お問い合わせ先

西原町役場税務課 ☎945-4729(内142)

北那覇税務署 ☎877-1324(代)

印鑑登録証明書が変わります!

本町では、これまで複写機による写しを作成してから印鑑登録証明書を交付していましたが、平成5年11月1日から、証明書の交付を、偽造防止の用紙を使用しての電算処理(コンピュータによる打ち出し)に変更いたします。

従来の複写機による証明書は、印影が不鮮明になるなど問題がありましたが、電算処理で鮮明な証明書が交付できるようになりました。

また、申請から交付までの時間も短縮され、住民サービスの向上が図られます。

なお、その他の印鑑事務については、従来どおりです。



※お問い合わせ先

町民課 ☎945-5012

寄付・香典返し

(ありがとうございました)

▽字棚原二百七十九番地、城間カマさんは、米寿を記念して町社協へ五万円、町老人クラブ連合会へ五万円。

▽字棚原百十二番地、比嘉茂子さんは、故夫貞助さんの香典返しとして町社協へ五万円、町老人クラブ連合会へ五万円。

▽字与那城百九十五番地の、新垣カマさんは、米寿を記念して町人材育成会へ十万円。